



百読あれ

Apr.2024~

新入生向け企画の『百読あれ』では、各学科に関連する読みやすい本を100冊紹介しています。ここでは、『百読あれ』の中から10冊をピックアップしてご紹介します。本は図書館3Fに展示されていますので、ぜひ手に取ってみてくださいね。

『サクッとわかるビジネス教養 野球の経済学』

小林至著

野球選手や球団に関する普段あまり知られていないスポーツとお金の関係性について教えてください。

『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』

Think the Earth編著；ロビン西マンガ

SDGsの目標を解決するために何をすればいいのかわからないことはありませんか？この本では17の目標についてわかりやすく解説してくれます。

『アイデアとかデザインとか』

青木亮作著

個性的なデザインを作者はどのように生み出しているのか面白く紹介！

『アメリカの高校生が学んでいる お金の教科書』

アンドリュー・0・スミス著

これからの時代を生きていくための投資、貯金、保険、借金といった一生モノのお金の基礎知識について学べます。

『物語でわかる:AI時代の仕事図鑑』

竹内和正著

AIに置き換えられる仕事が増えた未来の物語が描かれています。AI が仕事のどのように関わっていくのかイメージしやすくなります。

『ブランディングが9割:』

なぜか小さい会社でも勝てる不思議なカラクリ』
乙幡満男著

企業の価値とはどのようなものなのか、なぜ、その店舗で商品を買いたくなるのか。それらをこの本が徹底解説してくれます。

『プロ野球チームの社員』

高木大成著

「球団で働いている人って、どういう仕事をしているのかどんな職種があるのか？」10年間プロとして活躍し、その後引退をして球団で社員として働くようになった著者が答えてくれます。

『ドラッカー100の言葉』

藤屋伸二著

経営学の父ドラッカー。彼の残した100の言葉から経営の本質を探していく

『今こそ知りたいAIビジネス』

石角友愛著

AIの基礎的な知識から最先端AIビジネス、これからのAIと日本経済の関係性がこれ一つで全て完結。

『毎日読みたい:365日の広告コピー』

WRITE PUBLISSING 編著

様々な企業の広告コピーを読むことができます。あなたが忙しい日々の中で大切なことが思い出せる時間が増える一冊になるかもしれません。